

福岡

福祉活動専門員の

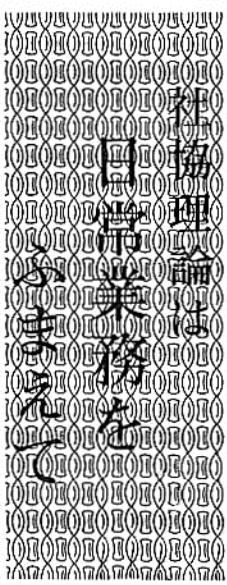
# ま な こ

社協活動前進のために

No. 5

昭和51年12月発行 | 福岡県専門員連絡会 まなこ編集委員会 印刷 福岡コロニー

社協。それは「UFO」うまい、太い、大きいであるはずだが、一般の傾向として、知らない、わからない、むつかしいというイメージは免れないようだ。現に社協職員でも何を、どういうふうに進めてよいか福祉の心がなかなかわからない。それでも従来の慣行から脱して新しきを求めて着実に前進しなければならぬわけだ。各種の研修会等には、次元の高い論議が集中する。それも真げんに取り組めば、社協は確かに複雑というかむつかしさは否めないようだ。例えば、住民主体、住民参加一つを取り上げてみても、ニードという多数決の意見集約も、今日のように複雑多様化した社会であればある程……。しかし現実の社会の実態は、日常二・三人で各種の業務を処理している。限らない福祉需要が要請される今日、福祉とは、社協とは、といわれたとき専門員を除いてはいぶかしくなる。すべてものごとには肯定的理解の否定的把握は必要であるが、老人なら老人問題だけで深くかゝわりあいをもてば、それだけで社協はオールマイティとなる。しかし揺りかごから産場までと活動するならば、広く浅く



らざるを得ない。社協の実践業務は低いものとなる。しかし理論のない実践は盲目だし、実践のない理論は空虚である。社協は理論が先行して実践が遅れているというが、必ずしも実践が伴っていないのではないか。それはやるという気持は、理論性からして、みんながもっているが……。まさに社協はS26年の強化要項にある火つけ役、先駆的、連絡調整を行うところから社協の基本的活動概要がある。

老人福祉

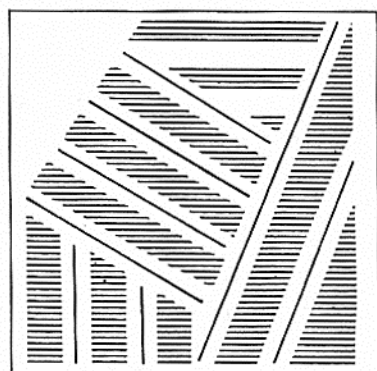
- 一 健康上の不安をなくす
- 二 孤独感をなくす
- 三 経済上の不安をなくす
- 四 生きがいを育てる

心身障害者福祉

- 一 住民相互の理解を高める
- 二 重度障害者の慰労対策
- 三 生活の不安相談
- 四 交流交換による向上

その他児童青少年、民生、婦人福祉等々。

したがって社協の事業は、総花的で立派すぎ、つかみどころがないのではなからうか。その基本原則を、どうすすめていくか、凡者にはわかりにくい



ので、例えば、初歩から高度まで事務分掌規則のような素人でもすぐわかる社協業務のサンプルをつくり、それを進めていく手だて、方策を具体的に説明したものをつくり、社協の理想型からABCというように見本ひな型があるとかかりよいのではないかと思う。社協にはそれぞれ地域性と特性があるので、一概にいえないが、それを取捨選択をすれば、容易にすすめるのではなからうか。話が高度になるときれいに終始しやすく、いきおい発言者の数を少く、その人達の論議に集中する。あとでうちは実状がそうまでいておさましように駄しがちである。つつ込んだ理論と同時に、広く浅い処方箋も必要となってくる。

多くの社協の実状をふまえて、日常業務から、離れていくことへの頂門の一針としたい。

(豊前市社協 緒乃)

# 指導とは何か

毛沢東の  
「住民参加論」

1  
先日、この世を去った大中国の巨星の思想と人生には、幾つかの太く大きな線が幾重にもからまり交差しあっていた。

第一には、「造反有理」という有名な言葉に現われているように、最初の反発、最初の反抗を大きな力に育てようという意志力、および「誤りを正すには度を越さねばならない」という急進性。

第二には、「調査をしなければ発言権はない」という客観性第一主義。実に一九二六年に書かれた彼の初期の著作は「中国社会各階級の分析」となっている。

そして第三には、「幹部は真理を堅持する勇氣をもて、何をこわがるのか？ せいせい解任・格下げ・除名・女房から離婚されること・投獄・死刑、この六つだけだ」という徹底した主体性重視。

第四には、「北國の風光、千里氷（こおり）封じ、万里雪飄（ひるがえ）る。俱に往きぬ、数（いくばく）の風流人物、還（なお）今朝を看るや」という雄大な詩（ロマン）。

最後の第五には、「毎日がクライマックスであることはできない。わたしは波型の前進に賛成する」とか、「戦略的には敵を蔑視し、戦術的には敵を

重視しなければならぬ」とかいう柔軟な現実主義路線。

この彼の思想と人生は、巨星の顔に、厚い頬肉と、深く切れ込んだ目尻の皺と、底知れぬユーモアをたたえた微笑を形作らせた。

しかし上記の中には、彼が一生を通して貫きとおした最も太く赤い線が、意識して除外されている。それは「大衆（人民）に奉仕する」という彼の根幹思想である。そしてそれは同時に、彼の組織指導原則の最深部の発想点でもあった。今回はこれについて書いてみたい。

福祉分野での「住民参加」が声高く叫ばれている現在、すでに古典となりつつある彼の著作に触れてみることも、組織問題と四六時中顔を向きあっている我々専門員にとって、あながち無駄とは思えないからである。

2  
毛沢東にとって組織指導上の問題とは何であったか？ それは「方法」の問題であった。ではその方法の要はどこにあったのか？ 「ひとつは一般と個別の結合、もうひとつは指導と大衆の結合」にあった。では、それはいかなる意味か？ 彼は言う。……「どのような活動の任務をおこなうにも、一般的、普遍的な呼びかけがなければ、広範な大衆を行動に立ち上がらせるこ

とはできない。だが、もし呼びかけにとどまれば、指導要員が自分の呼びかけた活動を、具体的に、直接的に、いくつもの組織で深くつっこんで実行し、一点を突破し、経験をつかんでから、その経験を生かして他の組織を指導するでなければ、自分の提起した一般的な呼びかけが正しいかどうかを検証する術がなく、また一般的な呼びかけの内容を充実させる術もなく、かけ声だけに終るおそれがある」

「すべての実践活動においておよそ正しい指導は、大衆の中から大衆の中へ、でなければならぬ。それはつまり、大衆の意見を集中し、これを再び大衆の中へもちこんで、宣伝と説明を行ない、これを大衆の意見にし、これを大衆に堅持させ、行動に移させ、また大衆の行動の中でそれらの意見が正しいかどうかを検証する。その後、さらに大衆の中から意見を集中し、ふたたび大衆の中へもちこんで堅持させる。このように無限にくり返して、一回ごとに、より正しい、より生々とした、より豊かなものにしていくのである」。

ここに立ち現われてくる大衆像とは、決して生のままの「方針」や「理論」を受け入れるものではなく、たがいの生活雑事に分散し、視野がせまく、目で見、手で触れなければ運動を確認できず、一度運動に参加しても自然に放置すると、またしても分散してしまう人間達だが究極において、その洞察は

客観的事実の的本質をとらえているといったものである。

したがって、大衆への指導は必要であるが、それは再度の大衆からの検証にみあうものでなければならぬ。

この巨星にとって、指導とは、「集団的」認識と実践の方法の問題であった。したがって幹部は、少数の組織中で、彼の方針を实地に指導してみても、その組織内の典型的人間達の反応を把握し、その経験を生かしながら、再度一般的な方針を築き上げねばならない。運動とは、その無限のくり返しである。極論すれば、最高の指導者とは、まさに、大衆の「自発的な」認識と実践から導き出された方針を、上からの「指示」として、大衆の中に投げ返し得る技術でなければならぬ。——以上が組織指導原則を通してみた毛沢東の「住民参加」論である。

3  
ぼくが毛沢東の著作を読み始めたのは、昨年の冬に、筑豊に帰って来てから後である。そして今年の夏から晩秋にかけて、ぼくは病に倒れてしまった。その間に、大中国の巨星はその生涯を終えた。そこで、今回は、社協内でのぼくの実践の反省をこめて、この小文を綴ってみた。

(田川市社協 山下)





飯塚市社協の事業について話していたのに  
おしゃべりになるとこんな顔になっちゃう。  
何か重点事項をとりあげたいねえ

石上(飯塚市)



SS/924(金)  
加成町福祉会誌

次の開催地が中間市  
かも……と聞くと、即  
座に「中間市は何  
もないですよ」  
今福祉調査のため四苦八苦ですよ。  
原田(中間市)



内田(稲築町)

「理論なら〇〇先生がい  
らっしゃるから……」  
専門員諸氏の言うこと  
ころのじいちゃん。もと  
自己主張したら、



「ボランティアには技術……  
どういうわけかすわりなおし  
ちゃう雰囲気です……」

(筑豊ブロックに特別出席) 松尾(玄留米市)

準備で忙しかつたのかなあ?  
出たり入ったり  
ごも何かしゃべってよ!  
会本がいたって、遠慮することない  
ない。

松村(方助町)



なんでですか?!!  
車の運転ができるんです?!!  
専門員は足さずくなんにも  
できませんよ。  
ハンハンハン——緒方(豊島前市)



中野(筑穂町)

私はもう長老ですがね、福祉に対  
する暖い心だけは歳に関係あ  
りませんよ——

ネエ!! 国会議員さん  
そう思いませんか?

秋, Autumn  
ぬけるような青空の下  
ススキの穂と手折りのながい  
トコトコ

新しいセンターが  
赤空に 映えていた。  
「問題提起者は名藤さんやロ?」  
司会 筑穂の中野さん  
で始められた

筑豊ブロック法人社  
協専門委員会のヒトツマ



社協は各種団体業務が多くて……  
ほんらの社協事業とは?  
——今回の問題提起者——  
安藤(桂川町)



「ヘルパーが時間外に仕事をし  
ているんですよ」  
社協は金がないでしょう  
だからボランティアだと  
思うことにしているん  
ですよ。  
お金がないというのほら  
いすな。赤間(宮前町)



「皆に聞きたんだけど、  
福祉の  
対象の  
対象と  
は……」



「産地でしょうか……  
あの不景しのおぼあ  
んに持すると、  
福祉の原点とは、  
僕が常に考えさせ  
られるんですよ」  
高石(直方市)



「皆さん、  
私のところ  
は献血事  
業に化してねえ……  
専門員なんていうのは、  
手足が未知数なんですよ」  
武田(穂我町)

「三題詠は私の特許なんですよ。  
私は歌が好きでねえ。」  
心と心のふれあい……ボランティア  
の歌「社協活動はここから云々」

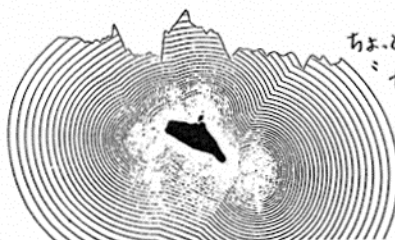
大塚(山田市)



「社協生活はもう長いんで  
すよ。でもかねえ……  
地道にしているのが福祉じ  
ないと思うんですが、  
現実は何となく……」  
城戸(水巻町)



「お寺の鐘が ーン ーン  
教会の鐘が ……  
池にボタンと投げ込んだ  
小石の波紋がひろがっていくような  
そんなお話でした。  
ちよとさついで  
かんばらな。ちや」



# また・三題ばなし

三題ばなしだから三回は書かねばと、また筆をとる。(団さんのパイプのけむりの向うを張るつもりはない)ともあれ三という数は安定感が備わっている。

三光三元三原色、三筆三傑三奇人、三悪三楽三すくみ、三省三顧に三猿主義、三C時代に三無主義、万才三唱三幅対、男三べん三度目の正直という。

## ★☆☆ 員 総 会 ☆

「しあわせはみんなの力で」の宣言葉は、わが山田社協石見会長の囑言になるもので、会長の陣頭指揮により本年五月は会員づくりに東奔西走の結果、五五〇名の入会者があり、六月六日第一回の会員総会に漕ぎつけた。

梅雨空の晴れ間を得て、市内小学校の体育館で約二〇〇人の参会者によって盛大にしかも和やかに開会した。県社協の中村総務課長にもあいさつを頂



別紙から選んだ社会

き、その後は型の如くであるが三月に手話のサークルが出来「サンタの会」という愛称で活動を続けている会員も会場の一角にたむろして、会の進行中、ろうあ者の為に手話通訳をしているのがユニークな点で、プログラムの中にもろうあ者の感想発表を入れ、二〇〇人の前でおめすおくせず手話でやっていたAさんには惜しみない拍手が湧いた。

アトラクションは、山田市音楽愛好会の皆さんによる出し物。なお、式終了後は会場を一変して、卓球大会場をしつらえ、五〇才以上の部と未満の部、女子部の三パートに別れ、老いも若きも和気あいあい。五〇才未満の準優勝者はろうあ者のBさんで小さなカップを手にしてうれしそうであった。

## ★☆☆ いつまでも若く☆

総会を終えた翌月は、地区毎に七晩五会場に於て会員の集会を開いた。それに県社協から一六ミリのフィルムを拝借して上映して廻る。「パラリンピック東京大会」と「いつまでも若く」の二本、後者はカラーでフィルムも新しく、笑いを誘う場面もあって好評だった。老年の早朝ランニングがテーマであるが、いまや日本はおろか世界中がブームだという。かくいう小生も三年前から早朝のランニングを続けている。

昨年十月、第一回福岡県志賀島老壮年マラソン大会が花やかに催されたのに、小生も思い切って参加した。——志賀島が眼の前に見えてくる、江戸時代に有名な金印を出したこの島は周囲二一キロメートル：芥川賞の岡松和夫、志賀島々にあるように、一周は一〇キロのコースで、五キロコースは折返しになっている。小生は五〇才の五キロに挑戦し完走記録二六分一七秒で第六位に入ることができた。男女二〇〇余名の参加者のうち最高年令は福岡走ろう会の留川三郎さん八二才——四九分四九秒で完走された。参加賞として金印をあしらった小さな盾を頂いたが、記録証に曰く『あなた、よう走んなさした、ほんに、いよか記録のとります。うんと頑張ってください。』

## ★☆☆ ボランティアの歌 ☆

あなたもボランティアに——が本年共算のキャッチフレーズになった。山田社協も会員制発足からボランティア活動も緒についた。

まず手始めが友愛訪問、数名の皆さんが社協に集合打合せの上でひとり暮らしの老人の家へ赴く。その一人酒井典子さんの手記を会報の中から抜粋しよう。

「こんにちは、お元気ですか、で始まる楽しい友愛訪問。七月から毎回参加しています。おかげで友人の少ない

私にも、二人のお年寄のお友達ができました。家庭の中だけが生活の場だった私ですが友愛訪問の日は、ボランティアの皆さんや、お年寄の方といろいろお交わりができて、大いに視野を広げることができました。

おばあさんを訪問する時は、一緒にテレビを観たり、五十年前の若かりし日のお話を聞いたり……。

おじいさんの訪問は、つくろい物をしてあげ、一緒に買物に行ったり、時には子供つれで訪問したりします。」

なお、会報七月号で募集した山田社協愛唱歌の入選歌を次に紹介しよう。主婦、森田ヤエ子さん作ボランティアの歌。

ボランティア ボランティア  
なんと美しい ことばのひびき  
しあわせをまねく手のひらのように  
心ふれあう 豊かな日々を

ボランティア ボランティア  
なんとやさしい ことばのひびき  
お年寄にも不幸な子にも  
いつも変らぬ 安らかな日を

ボランティア ボランティア  
なんとたくましい ことばのひびき  
からだ弱く うごけぬ子には  
窓辺に花と 朝の光を

(4番は略)

作曲は前記音楽愛好会の指導者でもあり九響のメンバーである、本市の松岡弘城氏に依頼しました。

(山田市社協 大塚)

# また・三題ばなし

三題ばなしだから三回は書かねばと、また筆をとる。(団さんのパイプのけむりの向うを張るつもりはない)ともあれ三という数は安定感が備わっている。

三光三元三原色、三筆三傑三奇人、三悪三楽三すくみ、三省三顧に三獲主義、三C時代に三無主義、万才三唱三幅対、男三べん三度目の正直という。

## ★☆会 員 総 会 ☆

「しあわせはみんなの力で」の宣言葉は、わが山田社協石見会長の唱道になるもので、会長の陣頭指揮により本年五月は会員づくりに東奔西走の結果、五五〇名の入会者があり、六月六日第一回の会員総会に漕ぎつけた。

梅雨空の晴れ間を得て、市内小学校の体育館で約二〇〇人の参加者によって盛大にしかも和やかに開会した。県社協の中村総務課長にもあいさつを頂



例会を兼ねた総会

き、その後は型の如くであるが三月

に手話のサークルが出来「サンタの会」という愛称で活動を続けている会員も会場の一角にたむろして、会の進行中、ろうあ者の為に手話通訳をしているのがユニークな点で、プログラムの中にもろうあ者の感想発表を入れ、二〇〇人の前でおめずおめずせず手話でやってのけたAさんには惜しみない拍手が湧いた。

アトラクションは、山田市音楽愛好会の皆さんによる出し物。なお、式終了後は会場を一変して、卓球大会場をしつらえ、五〇才以上の部と未満の部、女子部の三パートに別れ、老いも若きも和気あいあい。五〇才未満の準優勝者はろうあ者のBさんで小さなカップを手にしてうれしそうであった。

## ★☆いつまでも若く☆

総会を終えた翌月は、地区毎に七晩五会場に於て会員の集会を開いた。それに県社協から一六ミリのフィルムを拝借して上映して廻る。「パラリンピック東京大会」と「いつまでも若く」の二本、後者はカラーでフィルムも新しく、笑いを誘う場面もあって好評だった。老年の早朝ランニングがテーマであるが、いまや日本はおろか世界中がブームだという。かくいう小生も三年前から早朝のランニングを続けている。

る。

昨年十月、第一回福岡県志賀島老年マラソン大会が花やかに催されたのに、小生も思い切って参加した。

——志賀島が眼の前に見えてくる、江戸時代に有名な金印を出したこの島は周囲一一キロメートル：：芥川賞の岡松和夫、志賀島々にあるように、一周は一〇キロのコースで、五キロコースは折返しになっている。小生は五〇才台の五キロに挑戦し完走記録二六分一七秒で第六位に入ることができた。

男女二〇〇余名の参加者のうち最高

年令は福岡走ろう会の留川三郎さん八二才——四九分四九秒で完走された。参加賞として金印をあしらった小さな盾を頂いたが、記録証に曰く『あなた、よう走んなさした、ほんにイよか記録のとります。うんと頑張つてまたおいでなごっせ』。

★☆ボランティアの歌☆  
あなたもボランティアに——が本年共募のキャッチフレーズになった。山田社協も会員制発足からボランティア活動も緒についた。

まず手始めが友愛訪問。数名の皆さんが社協に集合打合せの上でひとり暮らしの老人の家へ赴く。その一人酒井典子さんの手記を会報の中から抜粋しよう。

『こんにちは、お元気ですか。で始まる楽しい友愛訪問。七月から毎回参加しています。おかげで友人の少ない

私にも、二人のお年寄のお友達ができました。家庭の中だけが生活の場だった私ですが友愛訪問の日は、ボランティアの皆さんや、お年寄の方といろいろお交わりができて、大いに視野を広げることができました。

おばあさんを訪問する時は、一緒にテレビを観たり、五十年前の若かりし日のお話を聞いたり……。

おじいさんの訪問は、つくろい物をしてあげ、一緒に買物に行ったり、時には子供づれで訪問したりいたします。』  
なお、会報七月号で募集した山田社協愛唱歌の入選歌を次にご紹介しよう。  
主 婦、森田ヤエ子さん作ボランティアの歌。

ボランティア ボランティア  
なんと美しい ことばのひびき  
しあわせをまねく手のひらのように心ふれあう 豊かな日々を

ボランティア ボランティア  
なんとやさしいことばのひびき  
お年寄にも不幸な子にも  
いつも愛らぬ 安らかな日を

ボランティア ボランティア  
なんとたくましいことばのひびき  
からだが弱く、うごけぬ子には  
窓辺に花と 朝の光を

(4番は略)

作曲は前記音楽愛好会の指導者でもあり九響のメンバーである、本市の松岡弘城氏に依頼しました。

(山田市社協 大塚)

# 社協につとめて4ヵ月 責任の重大さを痛感



社協に福祉活動専門員として就職して早くも四ヵ月が経過しました。現在専任職員として福祉活動にたずさわっております。就職に際して、社協とはどういうものか、どういう事業を行なっているか等の予備知識ももたずに就職しました。応募者が私一人ということで、やむなく採用になったことだと思います。

基礎知識が何もないわたしにとっては基本から勉強しなければなりません。社会福祉協議会基本要項の第一項には「社会福祉協議会は、一定の地域社会において、住民が主体となり、社会福祉・保健衛生その他生活の改善向上に関連のある公私関係者の参加協力を得て、地域の実状に応じ、住民の福祉増進を目的とする民間の自主的な組織である」と明記されております。また、福祉活動専門員の職務は、厚生省事務次官通達により、「市町村の区域における民間社会福祉活動の推進方策について調査・企画・連絡調整を行うとともに、広報・指導・その他の実践的活動の推進に従事する」ということが明らかにされております。このことから社協の性格、すなわち、社協の存在が明らかになり、また、それに従事するわたしの立場も明確になりました。

近年「福祉優先」「福祉の見直し」などのことばをよく耳にするようになりました。また、ある大臣は「今年こそ福祉元年」とか申したそうですが、中味はどうでしょうか。老人福祉施設・身障福祉施設など、物に関しては、昔のそれとは比較にならないほどよくなっていることは、だれも否定することはできないでしょう。

しかしながら、心の福祉についてはどうでしょうか。政財界を揺るがしたロッキード事件による政治不信、共同募金に対する批判などを耳にする時、どうしても前進しているとは思えません。こう思うのはわたし一人の思い違いでしょうか。

社協に就職してはじめて耳にしたボランティアということばにも最近やっと耳なれし、わたしなりにその解釈をしておりますが、このボランティアということばが国民の中に日本語化し、ボランティア活動をボランティア活動と意識されなくなった時、真に福祉の充実がなされた時ではないでしょうか。そしてこの大事業を推進し得るのは、全国的な規模を持ち

ち、民間の福祉団体である社会福祉協議会において可能なことではないでしょうか。

このように思う時、責務の重大さを痛感すると共に、仕事に生きがいを感じるようになった今日このごろです。

(那珂川町社協 後藤)

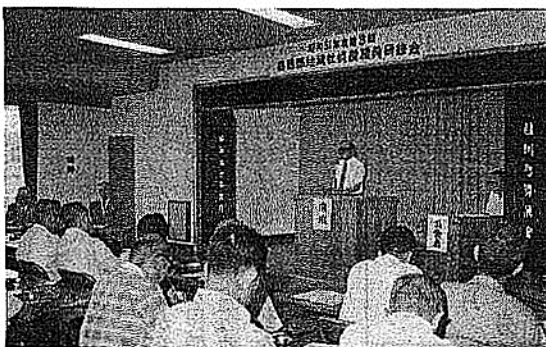
今回で第三回目を迎えた嘉穂郡地域社協役員研修会が、八月に嘉穂郡桂川町隣保館で開催した。参加者は、言うまでもなく社協会長・副会長・事務局長・専門員・専任職員で、郡内八カ町社協のこれら役員が一同に会して半日、「市町村社協の法制化について」「今日の社協のあり方について」熱心に講義・研究協義を行った。この研修計画にあたっては、嘉穂郡八町(法人社協4・未法人社協4)の専門員・専任職員の手で、役割分担をして進行的なもので、今回は桂川町が当番であった。

以下、内要の概略は次のとおりであった。はじめに、県社協理事(稲築町社協会長)、野坂弘義氏から「市町村社協法制化について」の講義があり、市町村社協法制化の趣旨、陳情運動のすすめ方、運動の目標等について詳しく話された。

また、「今日の社協のあり方について」は、桂川町社協松野会長、稲築町社協野坂会長から、それぞれ、現在までの社協活動の経過、取り組み状況、課題について、発表され、現在のわたしたち社協マンの活動の不十分さをつくづく考えさせられ、わたしたち社協マンとしての役割と福祉に対する活動に、今後なお一層の努力が必要だと痛感した。

(桂川町社協 安藤)

## 嘉穂郡地域社協役員研修会報告



# めらんこい

たゆたうように、その人の影が陽ざしの中にゆれていた。

眼をさますのがつらい朝だった。幼いのがしずかな寝息をたてている。その小さすぎる手をつめながら、わたしは秋のまぶしさを感じていた。

小便にいつて、鏡の前になつ。歯を削き出してブラシを擦りつける。

（いやあ、そのお、居るよりは居ない方がよいという程度の想いから：こはきすてた苦い液体に、かすかに血が混じっている。

ある縁談をすすめていたわたしの友人は、一方の家族の中に知恵おくれの人がいることを理由に、それ以上の話の進展を怖れ、躊躇していた。

（本当の話し、当人もそれを知って、急に踏ん切りがつかなくなっているんだから）

食卓に並べられた食べ物に口に運ぶ。昨夜の多量のエチルアルコールが胃を遮蔽する。

コーヒーを注文し、タバコをくゆらせながら本を捲る。

ポランティア—ステキな言葉だ。天皇陛下パンザイの隣のおっさんも、算盤塾のメガネの先生も、丸太ん棒のような腕で孫をぶんなぐるおばはんも

みなポランティアだ。

「お早よう」「お早ようございます。」どの声もはずんでいる。明るく笑い声が階下から聞えてくる。

わたしはひそかにポランティアの諸氏を妬んでいる。ほとぼしるエネルギー、溢れる笑顔。おお、何と美しい生命の讃歌であろうか。

見せかけの同情を売ろうというのではない。

わたしは、身体の不自由をおぞましさと感じるであろう。私自身を心の内奥にはつきりとみる。

ポランティア講座の最終日。

「あなたの発言は『育成する側』の建前論にすぎない」

Y君のほがらかな声にみながうなずいた。

「いろいろと難しい問題もあるだろうけど、何よりもたのしく長続きのする活動でなければ意味ないんじゃないかって……」

つねに沈着なSさんが言った。けれど、あなた方は知っているか。

あの熱い哀しみを。

ひと月も前のことになるだろうか。長い間、奥さんと二人きりの暮らしに身を任せてきたからだの不自由なAさ

ん。

「奥さんも大変だろうね。せめて買物に出かける時ぐらい、だれか代りに介助してやれないものかしら」

それは、善意に満ちた思いつきに違いなかった。

「それがTさん、この前行ってきたんですよ。それなら、男性のあんなところまでつかんで用を足させなきゃならないんですよ。いくらわたしが年輩だからって、あんまりねえ……」

辛かっただろう。醒めた意識の底で見知らぬ他人に局部をさらさねばならぬAさんの影が、四年前死の臥所にさびしく横たわっていた父の姿と二重写しになって、わたしの心をふるわせた。

また、こんな事もある。

齢八十の坂を越えたひとりぐらしのEはあちゃんが、これからの身の置場になやんでいた。

「はあちゃんにはあれだけしてやりよるとにきき、わたしには相談しなれんとよ。ちょっと言いなっても、OOさんに話しよんなること違っっちゃもん。もう、イヤになる。」

いつも訪ねてくれるこのCさんへの、Eはあちゃんの感謝の気持ちに変わるころはない。けれども、みながおそらくそうであるように、Eはあちゃんにも彼女だけの孤独の世界があり、その隠れた心のヒタまでをも計り知ることとはだれにもできはしないはずだ。

「善意」の社交場には、いつも「満

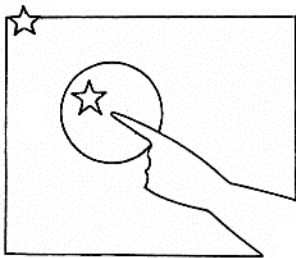
足感」というデコレーションが必要であるらしい。

人並みの顔、人並みの背丈、人並みの知能、人並みの言動、人並みの服装、人並みの生活程度。

人間の条件としての、この「人並み幻想」に身を隠し、「ああ、だれかわたしを愛してくれないかしら」と身悶えしながら、それでも人並みの笑いを咄い続ける。

わたしは、今日も少数者と敵対するところに立ちながら、夕暮れを待っている。

(直方市社協 高石)



### ■ 予 対 通 報 ■

(五二年度予算要求)

- (1) 福祉活動専門員の増員 百五〇人  
福祉活動専門員人件費の改善  
九八万六千円→百七万三千円
- (2) 市区町村社会福祉活動センター増設(六〇カ所増)  
二八八カ所→三〇四八カ所
- (3) 心配ごと相談事業費の改善  
① 一般分 二、九七七カ所  
② 六〇、七二〇円→六〇、七二〇円(前年同額)
- (4) 人口十万人以上分  
二二八カ所(二五七カ所の二年計画)  
② 二二五、八一〇円
- (5) 家庭奉仕員の増員と処遇改善  
① 奉仕員数(千人増)  
一、二、二〇〇人→一、三、二二〇人
- (6) 手当(月額)  
② 七万九千円→九万二千二百円
- (7) 世帯更生運動推進費補助金  
① 市町村社協事務費(一県年額)  
九八万二千五〇円→百五万三千二〇〇円
- (8) 民生委員実費弁償費  
一人年額  
② 一、八〇〇円→二、四〇〇円

(五一年十二月現在)

#### 【社会福祉市民講座シリーズ】

### 社会福祉市民講座シリーズ

自治会・婦人会などの地域団体、ボランティア・施設の方々の討議にぜひご活用を

社会福祉とは一体なんであるのか。社会福祉サービスの受け手の一人ひとりどんなかかわりをもっているのか。社会福祉を「初心にかえて」究明するための素材として、社会福祉に直接たづさわる各分野の入りと、研究者、なによりも庶民の声を収録。

- 岡部 志郎  
1 福祉のころころ  
自分の中にあるいちばん美しいものを人と分かちあうことから福祉は始まるだろうと思う  
定価 200円・千100円
- 石坂 直行  
2 車いすからの報告  
きょうこの瞬間から、恥かしくても、からだの不自由な人に出会ったら、声をかけてほしい  
定価 200円・千100円
- 近藤 薫樹  
3 保育と教育  
ほんとうにキチンとした知的な発達こそ、りっぱな道徳的な人間をつくっていくのです  
定価 200円・千100円
- 那須 宗一  
4 高齢化社会の福祉課題  
これからの老人像は、地域社会で心身ともに自立していくことを理想にせねばならない  
定価 200円・千100円
- <シンポジウム>  
5 福祉の町づくりへの提言  
住民意識は点にとどまっているが、もっと「点」や「面」にひろげなければならぬのです  
定価 200円・千100円
- <シンポジウム>  
6 社会福祉と地方財政  
地方財政危機の住民にとっての本質は、住民の要求が解決できない、住民生活の危機的なのです  
定価 240円・千100円
- <シンポジウム>  
7 婦人のボランティア活動  
無理をしない、長続きするしかたで、しかも自主的・主体的に。これがボランティア活動の特色だろう  
定価 240円・千100円

#### 【社会福祉一般図書】

全国社会福祉協議会 編 解説 三浦文夫

### これからの社会福祉施策

社会福祉資料・文献集(1)

高度成長から低成長、安定成長への移行のなかで、社会福祉の「見直し」論議が活発になっており、社会福祉施策にかかわる答申、報告、提言が数多くされている。充実した国民生活のための質の高い社会福祉施策確立のために欠かすことのできない基本的な資料。

日5判・160頁  
定価 1000円  
千160円

中央社会福祉審議会 編  
職員問題専門分科会起草委員会

### 社会福祉職員専門職化への道

福祉事業を支えているのは、職員である。対象者と直面しての姿勢、技術、処遇は職員の資質にかんによる。社会福祉主任、福祉司、施設長、指導員、MSW、保育所保育士、福祉職員等の資格要件は……注目の「社会福祉士法制定(草案)」の全文と関係資料を収録。

日5判・94頁  
定価 300円  
千120円

### 月刊福祉

### 月刊雑誌

「50余年の歴史をもつ伝統の雑誌」「70年代の福祉を考える雑誌」「ひろく市民参加を呼びかける雑誌」——このように本誌は福祉問題総まくりの月刊誌。公害問題から人権問題まで繁榮のかけにかけられた福祉の現実を目を向けてあなたとともに考える月刊雑誌。

1部 280円 千29円・1年 3,360円 千共  
振替 東京 0-40669

### 図書案内

(申し込みは県社協へ)  
TEL 〇九二七六一〇七四七

### ※ 編集後記 ※

- ▽ 発行予定がのびのびになってしまったことを、最初におわびしたい。
- ▽ 「まなこ」編集委員会は、持ちまわり制となっている。前号は福岡ブロック(森山・河島)が担当した。本号は筑豊・京築ブロック(緒方・山下)。次号は県南ブロック(奥苑)の担当となる。
- ▽ 由来編集者とは、これぞと思った執筆者に対し、葉書・電話戦術から夜うち・朝がけ訪問、さらにはホテル電話作戦まで、ありとあらゆる手段を要して執筆依頼をこうすべきものである。「投稿お願いします」と一声のたまえば、原稿が勢ぞろいするなどと考えるうちは、まだ甘い人間とは本来、原稿を書かない動物である。
- ▽ わが編集委員会は初心な素人はかりである。非力をもって、ますます専門員諸氏の投稿をお待ちする次第である。
- ▽ 本号もまた、県社協地域係の方々にお手をわずらわせた。一言お礼をのべたい。
- ▽ 師走である。今年も残りあと数日……専門員諸氏の来年のご健康・ご健筆・ご健闘をお祈りする。(山下)